

ジャコビニ流星群を見よう。

神戸市 豆田勝彦

始めに

本年10月9日未明の空に、一つの流星群の活発な活動が予報されています。1933-1946の各年に60分間に数千もの流星出現を見せた流星群で、1972年は日本の空でも同程度の出現が予想され、社会現象ともいえる大注目でしたが、その出現が僅かのものにとどまり世間に大失望を与えました。もう過去の様な出現はないともでさやかに忘れられようと思いましたが、なんと1985年に日本で60分間に100程度の出現を見せ再び注目、1998年にも満月の月明かりの空で数十個。翌年の10個程度の出現を見せました。

1998年以降に、ダストトレイル理論という新しい流星の大出現を予報する方法が提出され、その理論が従来の方法より極めて優れていることが数々の研究と観測より確かめられています。さて今年この理論から60分間に百を超える程度の出現が予想されています。其の日時は日本時間の10月9日未明の午前2時から6時頃と予報されています。

2011年の活動予報

2011年のジャコビニ群の出現ピークの予報時刻は、日本時間の9日未明の午前2時頃と午前6時のダブルピークが各研究者から発表されています。出現数の予想はそれぞれ、ZHR 数十、ZHR 500-600。ZHRとは、60分間の出現数で流星が放射される中心の位置が天頂にあり、其の時の最微星が6, 5等の最高の空。しかも視界を遮る雲、山、建物等の妨害がないという理想的な条件での値です。

ジャコビニ群の流星が放射される天空の中心は龍座の頭部、トランプのダイヤの形に似た星列のあたりです。10月上旬の頃は薄明終了後の北天高くにあります。時間の経過と共に高度が下がっていきます。さらに悪条件としてピークの頃夜空には満月近くの月光があり空を明るく照らします。実際に見える流星はこのため三分の一、あるいは四分の一になってしまいます。

先に少しふれましたように、日本時間の午前2時頃はもう龍座の頭部は地平線近くにあります。しかも午前5時頃には天文薄明がやってきます。実は日本での条件は踏んだりけったりなのです。この為熱心な流星観測者の中には、ヨーロッパ等の夕空の龍座頭部が空高くにある地域への遠征を計画されている方もいます。

悪条件の日本で見よう。

さてここまで読まれ、もうジャコビニ群は見ないと思われた方が殆どでないかと心配です。しかし私はあえてこの流星群に注目を呼び掛けます。諦めの悪い私は予報時刻が数時間早くなるということに期待します。そしてその活動がかつての大流星雨をみせた1933年、1946年の規模 ZHR 数千から一万を期待します。針の穴を目をつぶって通すよう

な淡い期待です。こうまでしても見たいのは皆さんこのジャコビニの流星の姿にあります。神々しいというか神秘的というか、一度見たら忘れられませんそのすばらしさは、是非今年見てください。10月8日天文薄明が終わる頃より空を注視下さい。そして9日に日が変わり天文薄明ががせまるまで、オールナイトで見たいものです。

眼視で記録される方は60分間の出現数を記録、あるいは30分でも可です。もし大出現がやってきたら、一分ごとの出現数を記録したいものです。カメラの用意できる方は、流星の写真を狙うのはもちろん、一つ明るい流星が出たあとは（木星、金星クラス）其のあとに流星の痕が写らないか試してください。獅子群やペルセウス群のような速い流星とは違った痕が存在する可能性があります。

10月8日が土曜日、そして9日は日曜日、休日の方が多くと思います。10日も休日です、まさにこの曜日の配列はなにかジャコビニの為に、なんて思ってしまうのは私だけでしょうか？

10月8－9日のかけての夜空、北の空で活動するジャコビニ群の動向に大注目しましょう。